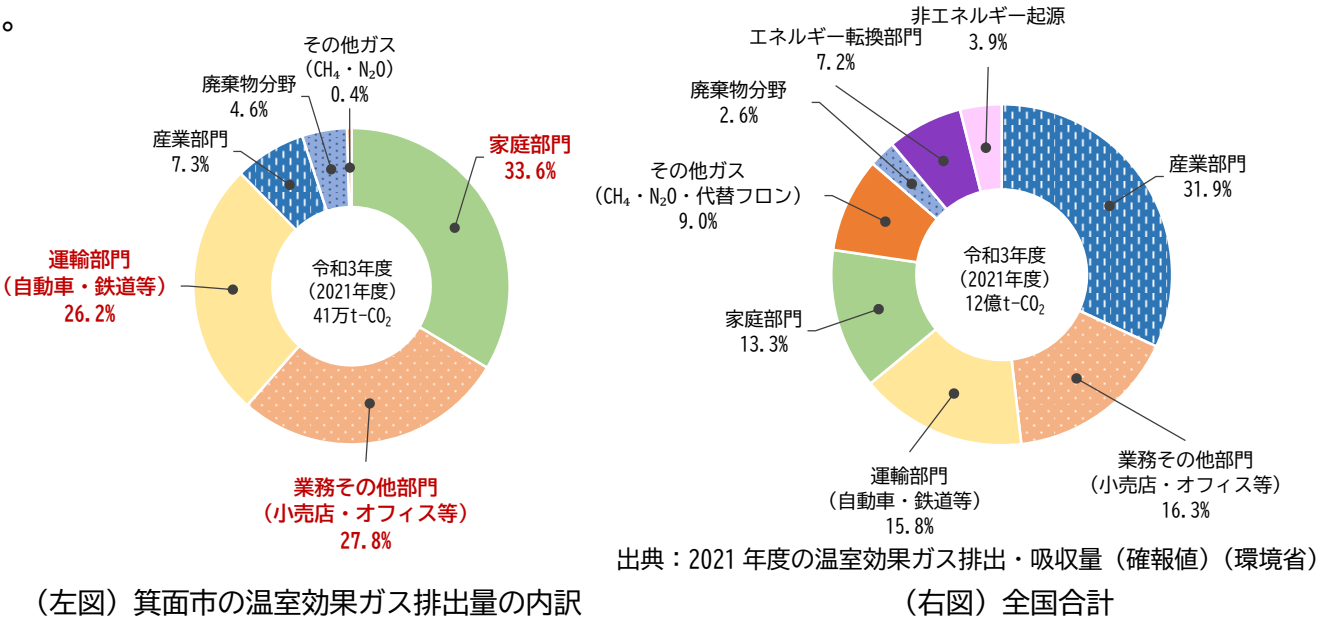


① 計画の目的

本計画は、急激に進む地球温暖化や気候変動による影響から私たちの生活や安全を守るため、温室効果ガス排出量削減に向けた取組を進めるための計画です。令和 32 年(2050 年)までに市内のカーボンニュートラル（温室効果ガス排出量実質ゼロ）達成に向け、市民・事業者・行政による脱炭素と地域課題解決に資する取組を推進することを目的としています。

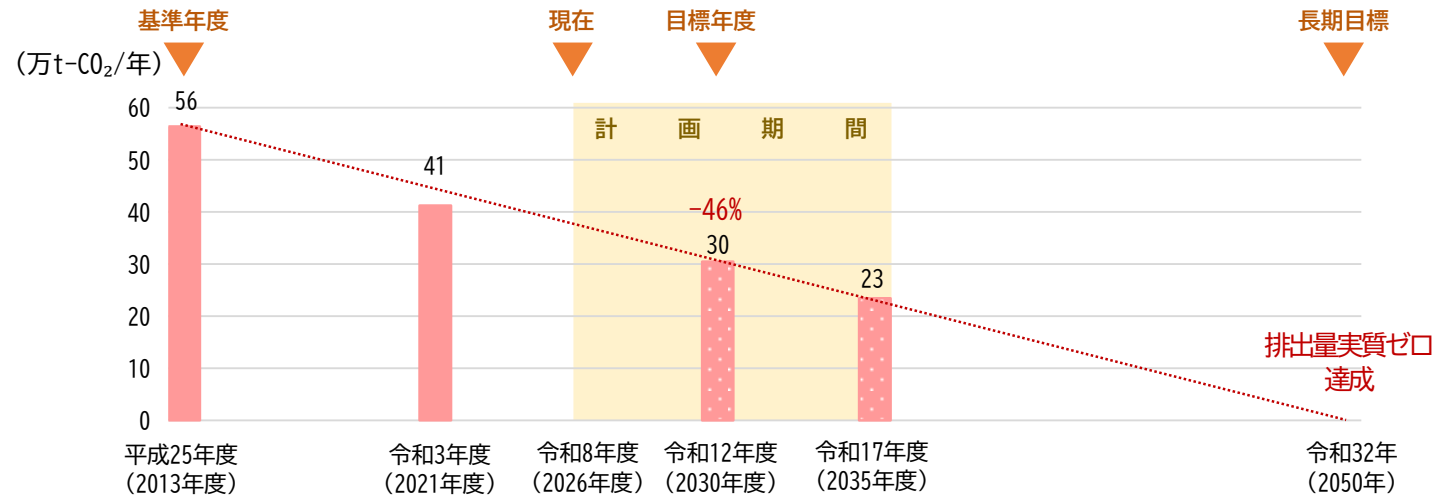
② 箕面市の現況

本市の温室効果ガス排出量は 41 万 t-CO<sub>2</sub>（令和 3 年度）となっています。本市は全国と比べ産業部門からの排出が少なく、家庭部門・業務その他部門・運輸部門からの排出が大半を占めています。



③ 温室効果ガス排出量の削減目標・計画期間

本計画の計画期間は、令和 8 年度(2026 年度)から令和 17 年度(2035 年度)までとします。  
平成 25 年度(2013 年度)を基準年度とし、令和 12 年度(2030 年度)までに温室効果ガス排出量を 46%減らします。



④ 目標達成に向けた取組 削減目標達成に向けて以下の基本目標・基本方針をもとに施策を推進していきます。

基本目標		市民に期待する取組	事業者に期待する取組	行政の取組・施策
緩和策※1	1 快適で省エネルギーなまち	・デコ活※3の推進 ・うちエコ診断※4の受診	・デコ活の推進 ・省エネルギー診断の受診	・デコ活やエネルギー利用量の把握についての情報発信 ・ESCO 事業※6等、市の取組についての情報発信
	2 エネルギー地産地消のまち	・電力の再エネ※5メニューへの切り替え ・太陽光発電・蓄電池の導入	・電力の再エネメニューへの切り替え ・太陽光発電・蓄電池の導入	・再エネ電力メニュー等の整理・情報発信 ・太陽光発電・蓄電池の導入についての情報発信
	3 みどり豊かで安心安全なまち	・木材・木製品の利用 ・公共交通機関・自転車の積極利用 ・家庭での環境学習	・木材・木製品の利用 ・公共交通機関・自転車の積極利用 ・脱炭素セミナー等への参加	・森林の間伐（吸収源・減災） ・公共交通機関・自転車利用への転換の推進 ・子どもを通じた大人への環境意識の啓発
	4 資源が循環するまち	・ごみの削減・分別 ・買い切り・使い切り	・ごみの削減・分別 ・ペーパーレスの推進	・分別回収先等の整理・情報発信 ・食品ロス削減イベント等
適応策※2	5 気候変動に備えるまち	・熱中症対策の実施 ・ハザードマップや避難所の確認	・熱中症対策の実施 ・事業継続計画の策定・見直し	・クールスポットの設置 ・温暖化と気候災害についての情報発信

※1 緩和策・・・温室効果ガス排出量を削減し、気候変動を極力抑制する取組

※2 適応策・・・緩和を最大限実施しても避けられない気候変動の影響に対して、その被害を軽減する取組

※3 デコ活・・・脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動

※4 うちエコ診断・・・家庭のエネルギー使用に関する情報を基にライフスタイルに合わせた省エネ対策を提案する診断

※5 再エネ・・・太陽光等の枯渇せずに繰り返し利用できるエネルギー（再生可能エネルギー）

※6 ESCO 事業・・・省エネルギー改修にかかる全ての経費を光熱水費の削減分で賄う事業



# カーボンニュートラルを達成した未来の箕面市



市民・事業者・行政で一緒に創り上げる、未来の箕面市を描いたよ。

省エネや再エネの導入、みどりの保全、資源循環、気候変動への対策など、みんなで取り組んでカーボンニュートラルをかなえた将来像モミ。

